

# Press Information

## 日本ケロッグ×パーソル総合研究所 「国際女性デー」に向けた合同イベントを開催

～多様な人材が活躍できる環境を、制度と行動の両面から考える～

女性の活躍推進に取り組む日本ケロッグ合同会社と株式会社パーソル総合研究所は、国際女性デーに向けて、3月6日（金）に日本ケロッグ本社（東京都千代田区）にて、合同イベントを開催しました。当日は、国連が定める2026年の国際女性デーのテーマ“Rights. Justice. Action. For ALL Women and Girls.”（権利、正義、行動。すべての女性と少女のために。）を軸にパネルディスカッションを実施。日本における女性活躍の現状や構造的課題を改めて見つめ直し、制度改革と個人の意識・行動の両面から、持続可能なダイバーシティ推進の在り方について議論しました。



日本では依然として、女性管理職比率の低さや昇進意欲の醸成といった課題が指摘されており、その改革に当たっては、制度の整備だけでは十分とはいえません。職場文化や評価のあり方、さらには周囲の理解促進など、複合的かつ包括的な取り組みが求められています。

本イベントでは、パーソル総合研究所が実施した定量調査をもとに、近年の女性活躍推進に関する実態調査の結果を共有いただいたのち、仕事と育児を両立している女性社員や男性の育休取得者、さらにはその上司にあたる社員など、2社合計6名のパネリストが登壇しました。

それぞれの経験や乗り越えてきた葛藤、得られた学びや気づきを紹介し合いながら議論を深めることで、女性活躍推進において企業が果たすべき役割を多角的に考える貴重な機会となりました。あわせて、性別や多様な属性にかかわらず、誰もが自分らしく最高のパフォーマンスを発揮できる職場環境・企業文化を築くことの重要性を改めて認識する場となりました。

### ■ 両社の取り組み

日本ケロッグでは、長年にわたり「女性活躍推進」を重要テーマの一つとして位置づけ、さまざまな取り組みを続けてきました。在宅勤務やコアタイムのないフレックスタイム制度の導入、男性の育児休暇取得の後押し、国際女性デーに合わせた

啓発イベントの実施、海外の女性リーダーを招いたコーヒーチャットの開催など、柔軟な働き方の推進と活発な社内コミュニティ活動に取り組んでいます。これらの活動を通じて、多様な価値観を尊重し合い、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる企業文化の醸成を目指しています。こうした取り組みが評価され、女性の活躍推進に関する一定の基準を満たした企業として、厚生労働大臣認定「えるぼし認定」2段階目（2025年10月付）を取得しました。

また、パーソル総合研究所は、パーソルグループのビジョン「はたらいて、笑おう。」の実現に向け、「一人ひとりの“はたらく力”を解き放ち、人と組織の躍進を実現する」ことをミッションに掲げています。働き方の多様化や雇用の流動化が年々加速する中、社員一人ひとりが自分らしく力を発揮できる環境づくりを重視し、多様な価値観やライフステージに応じて安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。その一環として、女性を含む多様な人材が活躍できる組織づくりを推進しており、女性活躍推進に関する継続的な研究成果を背景に、職場における構造的な課題の可視化や改善に向けた取り組みを進めています。

## ■ 合同イベントの内容（パネルディスカッション）

イベント当日は、パーソル総合研究所が実施した近年の女性活躍推進に関する実態調査の結果を共有いただいたのち、2社の社員6名がパネリストとなりパネルディスカッションを実施しました。パネルディスカッションでは、国連が定めたテーマ“Rights. Justice. Action.”（権利、正義、行動）3つのポイントについて、以下のように企業の観点でとらえなおし、パネリストの実体験や具体的な制度などに触れながら議論を交わしました。

### ・「Rights（権利）」

女性が職場で力を発揮し、支援が実際に機能していると実感できる環境や場面について議論が交わされました。そこでは、性別によるバリアや不公平感を生じさせない人事評価や社風、発言しやすい会議体のあり方、フレックスタイムや在宅勤務制度の柔軟な運用、早朝・夕方以降の会議設定を避ける配慮など、ライフステージと両立しながらキャリアを継続できた具体的な経験が共有されました。

さらに、「配慮」と「差」の違いについても意見が深められました。育児をしながら働く社員にとって、自分ではコントロールできない物理的な制約に対する周囲の「配慮」は大きな支えになる一方で、女性であること、あるいは子どもがいることを理由に責任ある業務や新たな挑戦の機会が減らされるような「差」を生んではならないことを、参加者全員で改めて確認しました。

### ・「Justice（正義）」

従来慣行を見直すことで、より公平でインクルーシブな結果につながった事例が紹介されました。育児休業中の女性社員を昇進候補として扱ったケースや、男性の育児休業取得者がキャリアを前進させた事例など、固定化された価値観や前例にとらわれず、必要性が明確な領域では積極的に変革を進めてきた具体的な取り組みが共有されました。これらの事例を通じて、組織が柔軟に制度や運用を見直すことで、社員一人ひとりが公平な機会を得られる環境が実現し得ることが改めて示されました。

### ・「Action（行動）」

制度の整備だけでなく、個人やチームの行動が職場文化を変えていくうえで重要であることが改めて確認されました。育児休暇取得後のキャリア推進やそのサポート、女性活躍の意義を伝える社内コミュニティ活動、さらに女性プロジェクトリーダーの積極的な登用など、可視性を高め、機会を広げる取り組みについての具体的な事例が共有されました。これらの取り組みは、制度と行動の両面から組織文化を前進させる実践として位置づけられました。

日本ケロッグでは、制度整備にとどまらず、日々の積極的なコミュニケーションや実務を通じた成長機会の創出を通して、

多様なキャリアの在り方を支援する取り組みを今後も継続的に推進してまいります。

### 【マース インコーポレイテッドについて】

マース インコーポレイテッドは、「私たちが望む明日の世界は、今日のビジネスのやり方から始まる」という信念のもとに事業を展開しています。年間売上 650 億ドル以上の家族経営の企業として、当社は世界中のペットに一流のペットケア製品と獣医サービスという多様なポートフォリオを提供しており、当社の高品質なスナックや食品は毎日何百万人もの人々を喜ばせています。

当社は、ROYAL CANIN®、PEDIGREE®、WHISKAS®、CESAR®、M&M'S®、SNICKERS®、Pringles®、Cheez-It®、BEN'S ORIGINAL™など、世界で最も愛されているブランドを製造しています。BANFIELD™、BLUEPEARL™、VCA™、ANICURA™など、当社の国際的なペット病院ネットワークは、予防から一般診療、専門診療、救急まで幅広い獣医ケアを提供し、ANTECH®はペット診断における画期的な機能を提供しています。

マースの五原則（品質・責任・互恵・効率性・自由）は、世界 17 万人以上のアソシエイトの行動指針となり、人々・ペット・地球にとってより良い世界の実現を目指しています。

マースの詳細については、[www.mars.com](http://www.mars.com)をご覧ください。[Facebook](#)、[Instagram](#)、[LinkedIn](#)、[YouTube](#) でフォローしてください。

### ケロッグ公式 SNS

新製品、コラボレーションメニューやイベント情報など、随時ケロッグのお得な情報を発信していきます。



X アカウント (@KelloggsJP)  
<https://X.com/KelloggsJP>



YouTube アカウント（日本ケロッグ公式チャンネル）  
[https://www.youtube.com/channel/UCtcGzOB\\_S4hwB6eDjJQxJVg/featured](https://www.youtube.com/channel/UCtcGzOB_S4hwB6eDjJQxJVg/featured)



Instagram アカウント (@kellogg\_japan\_official)  
[https://www.instagram.com/kellogg\\_japan\\_official/](https://www.instagram.com/kellogg_japan_official/)

2025 年 12 月 11 日に、マース インコーポレイテッドによる Kellanova 社の買収が完了したことに伴い、日本ケロッグ合同会社（Kellanova グループの一員）は、現在マースグループの一員となっています。

#### ■ご掲載時のお客様からのお問合せ先：

日本ケロッグ合同会社 お客様相談室フリーダイヤル：0120-500209 <受付：月～金 9:00～17:00 土日祝日除く>